

収入編（一般会計予算）

那覇市の収入には、市税や国と県からの収入、銀行等からの借り入れや施設の使用料などがあります。

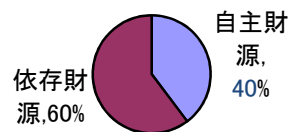
那覇市の一般会計予算
(1年度間の収入)

2万分の1へ

項目	金額(単位:千円)
市税	43,941,491
分担金及び負担金など	2,627,750
使用料及び手数料など	5,028,066
市債	11,990,363
繰入金	1,822,637
地方譲与税	653,483
地方消費税交付金など	5,599,010
地方交付税	12,150,433
国・県支出金	50,656,767
計	134,470,000

那覇市の一般会計予算の

- ・約40%が市税などの自主財源の収入です。
- ・国からの交付税などの依存財源は約60%です。



【自主財源】

市が自主的に収入しうることのできる財源です。
市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰入金、財産収入などが該当します。

【依存財源】

国や県の意思により定められた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のことです。

地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、市債などが該当します。

自主財源の比率が大きいことが大切です。

みなさんが、那覇市に納める税金です。

事業を行ううえで、その事業に係る経費の一部を受益の程度に応じて負担していただきます。

市の施設を利用する際に支払うお金です。

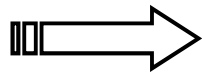
銀行などから借金をしています。

主に、基金を取り崩しています。

みなさんが国に納める税金の一部です。
使いみちは自由です。

みなさんが国や県に納める税金の一部です。
使いみちが決められています。

2万分の1に置き換えて…那覇市の収入(歳入)予算を家計簿に例えてみました！
(支出(歳出)予算の家計簿は、p12に掲載しています。)



なは家の家計簿
(1年間の収入状況)

収入項目	金額(万円)
基本給与	220
諸手当	13
パート収入	25
銀行からの借り入れ	60
預金の取り崩し	9
親からの仕送り	92
親から特別にもらう仕送り	253
計	672

那覇市の平成27年度の一般会計予算は、1,344億7,000万円です。

数字が大きすぎて、なかなか実感できません。そこで、「なは家の家計簿」に置き換えてみました。(いろいろな収入があり、普通家庭と多少異なりますが、2万分の1に置き換えてわかりやすくしてみました。)

なは家の家計簿(収入)の特徴

年間の収入は、決して低いとは言えません。

しかしながら、その実状は、親からの仕送りに頼っていることがはっきりしています。また、銀行からの借り入れや預金の取り崩しを毎年のように行っています。

今後は、親からの仕送りは減っていくことが考えられます。預金もそんなに多くは残っていません。基本給与や諸手当及びパート収入の増に努めたいところです。

また、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが必要だと考えます。

Q 那覇市の市税収入は増えているの？減っているの？どっち？おしえて！

A 那覇市の収入の根幹である「市税」収入は、平成25年度決算で430億1,130万円と、前年度に引き続き400億円を超え、前年度(平成24年度)に比べると、約16億9千万円増えています。また、収納率も95.6%となっており、前年度より1.3%伸びています。平成27年度予算額においても、439億4,149万円を見込んでいます。

市税収入には、主に個人市民税、法人市民税、固定資産税などがあります。平成25年度決算では、前年度に比べ約16億9千万円増加しています。主な内訳では、市民税が約6億9千万円、固定資産税が約5億円、市たばこ税が約4億1千万円といずれも増となっています。

また、市税の納付率については、平成20～21年度は景気悪化の影響により、91.7%となり前年度から0.1%減少しましたが、平成22年度は92.3%、平成23年度は93.2%、平成24年度は94.3%、平成25年度は95.6%となり、年々向上しています。

(注) 右のグラフは平成25年度までは決算額、平成26・27年度は予算額です。

